

こうすれば原発はなくすことができる！

～エネルギー政策の根本的転換～

2013年10月27日(日) 10:00～15:30

成田市公津公民館

(京成成田駅中央口より千葉交通バス「宗吾霊堂」下車、徒歩7分)

資料代:26日の全体会、27日の分科会の2日間の共通資料代として1000円
(学生・障がい者は500円)



記念講演

民事、軍事を問わない核廃絶をめざして
～新たな文明を求めるエネルギー政策の転換～

むらた みつへい
村田 光平氏

元駐スイス大使



パネルディスカッション

市民が取り組む再生可能エネルギー

- ・市民風車の実践事例
榊原 樹子氏 生活クラブ生協理事 環境委員長
- ・市民が取り組む森林活用
白江 英明氏 NPO法人 元気森守隊 (花島産業)
- ・自然エネルギーを利用したまちづくり
堀内 道夫氏 株式会社 光と風の研究所
- ・廃食油からバイオディーゼル燃料へ
原田 優氏 ワーカーズコープ 芝山アグリグリーン工場長

コーディネーター

富田 孝好氏 ワーカーズコープ連合会 常任理事



問い
合わせ

ワーカーズコープ 東関東事業本部

TEL : 043-308-0620 FAX : 043-308-0690

住所 : 千葉市中央区要町 12-8

E-mail : hgskntub@roukyou.gr.jp

第2分科会 開催趣旨

福島第一原子力発電所の事故から2年6ヶ月が経ちます。その被害範囲は広域におよんでおり、多くの人々の生活やその場所が奪われ、コミュニティ、人々の分断はいまなお続いています。初期被曝や低線量被曝の健康被害の問題、風評を含めた生活基盤の崩壊、情報を隠蔽や、住民へのルールの一方向的押しつけなど、理不尽な状況は変わらずに続いています。また、事故収束を宣言しているにもかかわらず、廃液タンクや地下浸透水から高レベルの汚染水が海などに漏れ続けており、事態は深刻な状況のままです。

その一方で、国民の事故に対する意識も風化が進み、関係ないと考える人たちが増え、脱原発の動きも鈍化しはじめているように感じます。そんな中で脱原発に向けて現実的に立ち向かい、様々な再生エネルギーに協同で取組む市民の動きは目覚ましいものがあります。この分科会ではそんな事例を紹介し、決して脱原発が絵空事ではなく、市民の力で原発の廃炉へとつなぎ、原発事故の被害者とともに脱原発に向け行動していく分科会としていきたいと考えます。

2013協同集会 in 千葉

地域に新しい力を

出会いからはじまる協同連帯のものがたり

～共に生きよう 支え合う地域をめざして～

“協同”をキーワードに地域の課題解決などに取組む団体など、どなたでも参加できる集会です。

10/26 (土) 全体会

14:15～15:30

記念講演 菅原文太氏

「黙ってないで立ち上がれ」

15:30～17:30

鼎談

地域から未来を考える

～食・農・環境・・・～

田中 淳夫氏 (株)銀座ミツバチ 社長
高柳 功氏 (有)おかげさま農場 代表
永戸 祐三氏 ワーカーズコープ連合会理事長

◆会場

ふれあいプラザさかえ

(JR 成田線安食駅 徒歩15分)

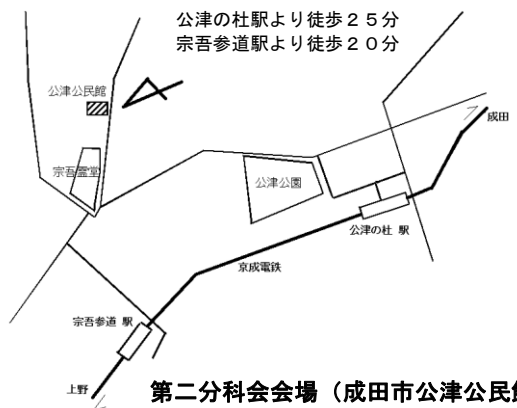
10/27 (日) 分科会

10:00～15:30

成田市内 8会場に分かれて実施

◆分科会

- ①協同による仕事おこし、まちづくり
- ②こうすれば原発は無くすことができる
- ③TPPに反撃!! 第一次産業の復興とこれからの新しい実践
- ④公共の在り方を考える
- ⑤高齢者・障がい者と共に生きる社会
- ⑥深刻化する社会的困難にどう立ち向かうか?
- ⑦女性の自立と就労、そして子育てを考える
- ⑧地域の内発的発展を考える



第二分科会会場 (成田市公津公民館)

主催：一般社団法人日本社会連帯機構、「2013協同集会 in 千葉」実行委員会

「2013協同集会 in 千葉」実行委員会 共同代表：池田 徹 (ユニバーサル就労ネットワークちば代表)、北田恵子 (NPO 法人ワーカーズコレクティブ千葉県連合会理事長)、黒田 悟 (社団法人千葉県労働者福祉協議会会長)、杉本恵子 (ワーカーズコープちば理事長)

共催：協同労働の協同組合ネットワークちば、ワーカーズコープちば、NPO 法人ワーカーズコレクティブ千葉県連合会、社団法人千葉県労働者福祉協議会、日本労働者協同組合 (ワーカーズコープ) 連合会センター事業団、生活クラブ生活協同組合千葉、社会福祉法人生活クラブ、一般社団法人協同総合研究所